

ヘブル人への手紙 3

今日、主に従おう



ヘブル人への手紙3章 救いの確信を深めるために

Shikaoichurch.com

4



5

「救いの確信を深めるために」

イントロダクション

I. 主イエスを知る 3:1～6

II. 主イエスを信じる 3:7～11

III. 今日、主に従う 3:12～6

まとめと適用

救いの確信を深めるために
今日、主に従おう!!



シナイ山

聖書 新改訳2017 ©2017 新日本聖書刊行会 許諾番号4-1062-2

6

ヘブル人への手紙とは？

- 著者 …記載なし。諸説あり **パウロ?!**
…メシアニック・ジュー(第二世代?!)
- 宛先 …メシアニック・ジュー
ディアスポラ(離散のユダヤ人)
ペテロの手紙と同じ教会(小アジア?)
- 場所・時期 …エルサレム陥落(BC70)前
ローマ? **エペソ?!**
- 内容 …ユダヤ教に回帰しようとする人々へ
信仰の基本的内容の確認、促し。



7

前回・第2章の振り返り

- 救いの創始者であるイエスは、罪の贖いを完遂された。
第一に、アブラハムの子孫を助け出すために。
- 復活したイエスは、昇天し、**大祭司**となった。
- 神であるイエスは、人となって死なれ、復活することで、
神と人との完全な仲介者・**大祭司**となった。

受難を経たイエスこそ、私たちの救い主であり、大祭司

8



1. 主イエスを知る ヘブル人への手紙3章1～6節

シナイ山

9

真理 モーセのように ヘブル3:1～2

ですから、天の召しにあずかっている聖なる兄弟たち。私たちが告白する、使徒であり大祭司であるイエスのことを考えなさい。

モーセが神の家全体の中で忠実であったのと同様に、イエスのご自分を立てた方に対して忠実でした。

- 二人の忠実な指導者
モーセは、神の家(イスラエル)の指導者
イエスは、主が立てられた全地の指導者



10

真理 モーセよりも ヘブル3:3～4

家よりも、家を建てる人が大いなる榮譽を持つと同じように、イエスはモーセよりも大いなる栄光を受けるにふさわしいとされました。

家はそれぞれだれかが建てるのですが、**すべてのものを造られたのは神です。**

- 天地と神の家を造られた神であるから、
イエスは、モーセよりはるかに偉大



11

真理 神の家を治める方 ヘブル3:5~6

モーセは、後に語られることを証しするために、神の家全体の中でもべとして忠実でした。

しかしキリストは、御子として神の家を治めることに忠実でした。そして、私たちが神の家です。もし確信と、希望による誇りを持ち続けさえすれば、そうなのです。

- モーセは、神の家に忠実に仕えたしもべ。
- イエスは、神の家を忠実に治めた神の御子。
- 福音を信じた者は、神の家とされている。



イエスは、やがて神の国を永遠に治める王となる

12

I. 主イエスを知る

■ モーセとの比較で語られるイエス

モーセは、神の家(イスラエル)に仕えた忠実な指導者

イエスは、神の家を治めた神の御子、神の国の王となる方。

■ まず求められるのは、比類なき主イエスを知ること

主イエスは、私たちの罪のため十字架で死なれ、復活された。

大祭司となられたイエスは、神の国の王として再臨される。

救いの御業を成し遂げたイエスは、王として来られる

13

**II. 主イエスを信じる** ヘブル人への手紙3章7~11節

シナイの荒野

14

訓戒 心を頑なにするな 3:7~8

ですから、聖霊が言われるとおりです。
「今日、もし御声を聞くなら、あなたがたの心を頑なにしてはならない。荒野での試みの日に神に逆らったとき*のように。」

※引用：詩編95篇7~11節

*神に逆らったイスラエルが受けた裁きが、
荒野の四十年



青銅の蛇

15

訓戒 荒野の40年 ヘブル3:9～11

あなたがたの先祖はそこでわたしを試み、わたしを試し、四十年の間、わたしのわざを見た。だから、わたしはその世代に憤って言った。『彼らは常に心が迷っている。彼らはわたしの道を知らない。』
わたしは怒りをもって誓った。『彼らは決して、わたしの安息に入れぬ。』』

- 主への反逆ゆえ、この世代のイスラエルは、みな荒野で死に絶え、安息の約束の地に入ることはできなかった。



コラの裁き

16

引用元 メシアの賛歌 詩編95:1～2

さあ【主】に向かって喜び歌おう。私たちの救いの岩*に向かって喜び叫ぼう。感謝をもって御前に進み 賛美をもって主に喜び叫ぼう。

- *モーセが打ち、水を湧き出した岩
➔メシアを示す

メシアに心を開いた者は、永遠の安息に招き入れられる



17

II. 主イエスを信じる

- 引用された詩編95篇は、「救いの岩なる」メシアの賛歌。
➔“主によって救われた”ことが大前提
- エジプトから救い出された神の民・イスラエル
➔かたくなになって、神の裁きを招いた
- 「かたくなになるな」 イスラエルと全人類に呼びかけられる

心を開いて、主イエスを信じ、信頼し続ける

18

**III. 今日、主に従う** ヘブル人への手紙3章12～19節

砂漠のオアシス

19

訓戒 今日 ヘブル3:12~13

兄弟たち。あなたがたのうちに、不信仰な悪い心になって、生ける神から離れる者がないように気をつけなさい。

「今日」と言われている間、日々互いに励まし合って、だれも罪に惑わされて頑なにならないようにしなさい。

■ 私たちに問われること

→ 今日、主に謙遜に従っているのか？

今日の連続が、信仰者の生涯



シナイ山

20

訓戒 今日、御声を聞くなら 3:14~15

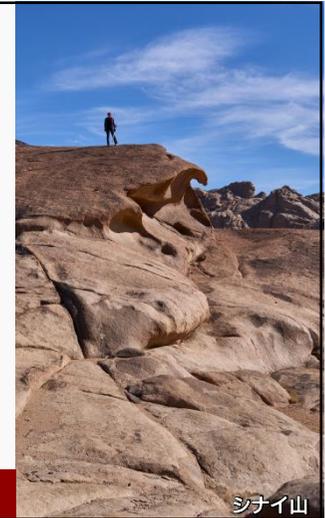
私たちはキリストにあずかる者となっているのです。もし**最初の確信**を終わりまでしっかり保ちさえすれば、です。

「今日、もし御声を聞くなら、あなたがたの心を頑なにしてはならない。神に逆らったときのように」と言われているとおりです。

■ 救いの**確信**は、過去の出来事ではなく、

今日、今この瞬間の主への従順による。

日々の悔い改めこそ、信仰の確かな証し



シナイ山

21

訓戒 神の民の反抗 ヘブル3:16~17

では、聞いていながら反抗したのは、だれでしたか。モーセに率いられてエジプトを出た、すべての者たちではありませんか。

神が四十年の間、憤っておられたのは、だれに対してですか。罪を犯して、荒野に屍をさらした者たちに対してではありませんか。

■ イスラエルは、神への反逆の罪ゆえ、神の怒りを受けて、40年を放浪、死した。

頑ななイスラエルが、私たちの反面教師



シナイの荒野

22

訓戒 不信仰のゆえ ヘブル3:18~19

また、神がご自分の安息に入らせないと誓われたのは、だれに対してですか。ほかでもない、従わなかった者たちに対してではありませんか。

このように、彼らが安息に入れなかったのは、不信仰のためであったことが分かります。

■ 今日、主に従っているのかどうか？

→ 現在進行形でしか得られない救いの**確信**

今、この瞬間、主への従順を求められているのが、私たち



23

Ⅲ. 今日、主に従う

- イスラエルを反面教師に教えられる、**今日**、主に従う大切さ。
- 信じた者も罪を犯す。犯した罪には刈り取りがある。
→ **今日**、悔い改めつつ、歩んでいるか？
- 最後まで悔い改めない者は、永遠の滅びに至る
→ 本当は信じていなかった。救われてはいなかった

目には見えない救いを確信するために、今日、主に従う

24



Ⅲ. まとめと適用 救いの確信を深めるために
今日、主に従おう

シナイの荒野

25

救いの確信を深める道筋

- I. 主イエスを知る 3:1~6
→ 救いの御業を成し遂げたイエスは、王として来られる
- II. 主イエスを信じる 3:7~11
→ 心を開いて、主イエスを信じ、信頼し続ける
- III. 今日、主に従う 3:12~6
→ 見えない救いを確信するために、今日、主に従う

道筋の土台・救いの確信について確認しておこう!!

26

救いの確信

救いは取り去られることがある?!

- 救いを失うことがあると主張する者が後を絶たないのはなぜ？
理由①…字面だけ見れば、救いを失ったととれる箇所がある
“彼らを決して、わたしの安息に入らせない”
救われたはずのイスラエルが救いを失った？
- 理由②**…表面的には、信仰を失ったように見える人がいる
棄教した牧師。完全に教会から離れた熱心な信者。
- 聖書の字面だけ、事柄の表面だけを見るなら、
確かに、信仰を失い、救いが取り去られているように見える

27

救いの確信

類例) 神は心変わりする？

■ “主は思い直された(出32:14他)” →神は心変わりする？

反証①…神は全知全能。はじめから終わりまで、すべてご存じ

反証②…神の義は完全。神は約束を絶対を守る。

神の義がなければ、すべてはむなし。

反証③…“思い直された”とは、人間の視点に合わせた表現

動いているのは天か地か？ →視点の違い

変わったのは人間の意識。人間視点では神が変化。

28

救いの確信

救いは、失われることはない

「キリストは聖なるものとされる人々を、一つのささげ物によって永遠に全うされたのです。ヘブル人への手紙10:14」

①神は、信じた者に、永遠の救いを約束されている

②義なる神は、約束を破られることはない

③一度信じた者から、救いが失われることはない

■ 聖書にも、教会にも、信仰を失ったように見える人はいる。その人は、元々信じていなかった。救いが失われることはない。

29

救いの確信

救いの確信は、簡単に失われる

■ 神の永遠の約束に基づく救いは、決して失われることはない。

■ しかし、私たちの信仰の確信は、簡単に失われる。
未信者と不信仰に陥った人は、表面的には見分けがつかない。

■ 判断の大きな材料は、**悔い改めの実を結んでいるかどうか**。
好例) 失敗はしょっちゅうだが、すぐ悔い改めるRくん
3歩進んで2歩下がり…繰り返しの中での確かな成長。
悪例) 悔い改めなく、去って行ってしまった人
「悔い改めたのに赦されなかった」という嘘を重ねる人も

30

★ 救いの確信を深めるために ★

■ 信仰者も罪を犯す。悔い改めが信仰生活の大前提(1ヨハ1:9)

■ 「かたくな」の反対が、「柔和」。主に従順で謙遜であること。
心が貧しい者。つまり、打ち砕かれ、悔い改めた者は、幸いだ。

■ 私たちは、福音を信じて救われた後も罪を犯す。確信を失う。
悔い改めつつ、今日を歩む、その課程で確信は深められていく。

悔い改めつつ、今日を歩もう!!

31

てん どう つみ
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください
わたし かみ こ しゅ
私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、
わたし つみ あがな し じゅうじか し
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、
はか ほつむ
②墓に葬られ、
みっかめ ふっかつ しん
③三日目に復活されたこと、を信じます。
すく えいえん わたし かくしん かんたん うしな
この救いは永遠ですが、私たちの確信は簡単に失われます。
ないじゅう せいれい わたし つみ おし
内住されるご聖霊が、私たちの罪を教えてくださいます。
う くだ ところ しゅ みまえ いの
打ち砕かれた心で、主の御前に祈ります。
く あらた きょう しゅ したが しゅ しめい つか
悔い改めつつ、今日、主に従います。主の使命に遣わしてください。
しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」